

着工を目指します。中地区は組合運営に関わる方針、事業計画変更を決定し、実施段階へと進められるよう支援します。東地区は市街化区域編入などの都市計画が決定され、本年区画整理組合が設立予定であることから、早期に事業着手できるように支援します。木山地区の活性化に向けた益城中央地区土地区画整理事業については、事業調査費を計上し、商工会および地域住民と一緒に、まちづくりについて考えていきます。

公園整備では、社会資本整備補助金を利用し潮井自然公園整備事業をさらに進めます。

公共下水道事業では、特に津森処理区の上小谷および堂園の一部と上陳の管渠布設工事と併せて、県道堂園小森線、県道熊本高森線と上・下小谷集落内の舗装本復旧工事を行います。浄化センターは、施設の長寿命化計画の実施設計を行い、経済的で効率的な改築更新に着手します。

水道事業では、計画的な老朽管更新と耐震化を図りながら、安全・安心な水道水を安定的に供給します。

消防・防災対策

地域防災の要となる町消防団員の確保と同時に、機械器具の整備充実を図るため、消防積載車2台を更新配備するとともに、地下式防火水槽および消火栓の新設も計画的に実施します。

国、県の指針に沿った町地域防災計画の見直しを行い、大規模災害に備えた飲料水および非常食の備蓄、発電機や投光器などの施設器具の整備を引き続き計画的に進めます。

自主防災組織の結成を促進するとともに、育成、強化に必要な助言、指導などを行います。

自分たちの地域は自分たちで守るという意識をさらに高め、行政、町民一体となって災害の予防、町土の保全、町民の生命、身体および財産の保護に努めます。

環境保全対策

ごみ問題では、「循環型社会」の構築を進め、分別収集の徹底に努めるとともに、資源ごみ回収活動団体への助成や広報活動などによる減量化とリサイクルを進めます。不法投棄をはじめ野焼きなどの不法行為は、県や保健所・警察との連携を強化し、啓発と防止に努めます。

河川の水質保全は、関係機関と連携し、水質の汚濁防止と監視の強化に努めます。

地球温暖化対策として、住宅用太陽光発電などの設置への補助や、身近にできる省エネ・再生可能エネルギーの普及啓発を行います。

「くまもとの地下水」を未来に残す取り組みとして、県や市町村・企業・地域と連携し、地下水保全対策に取り組むとともに、雨水浸透施設

の推進をはじめ、企業などとの産官連携による冬期湛水事業「冬水たゝ

んば」を実施し、地下水かん養を積極的に進めます。

窓口での住民サービスを向上

住民の利便性向上のため、マイナンバーに対応したコンビニエンスストアでの各種証明書発行サービスを実施していきます。住民票や戸籍謄本などの不正請求、不正取得の防止を図るため、「本人通知制度」を実施します。併せて、窓口サービスの向上を図るため、庁舎1階の住民生活課に各種証明書の発行に特化した

スペースを設けるとともに、「よりよいおもてなし、住民目線の窓口サービスを目指して」をコンセプトに、来庁された町民の人たちのプライバシーに配慮した、分かりやすく、ライフイベントの手続きがワンストップでできるよう、庁舎1階のフロア改修を予定しています。

地方創生を推進し地域を活性化

人口の将来展望について策定した「益城町人口ビジョン」や地方創生に取り組む基本的な計画として策定した「益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、若い世代を中心に、「雇用の創出」「移住・定住の促進」「希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり」「安全・安心な暮らしと地域間連携」の4つを政策目標に掲げ、47の事業に取り組みしていきます。

今後、国のさまざまな補助制度を活用しながら、総合戦略を本町の地域活性化の起爆剤として積極的に取り組んでいくとともに、新設する政策推進課内に地方創生係を配置し、地方創生の推進・深化を図ります。

益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成28年4月から5年計画の第5次益城町総合計画後期基本計画の中に位置付け、「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化を図っていきます。

第5次益城町総合計画後期基本計画では、「まちのにぎわいづくりの推進」「ましきブランドづくり」とシタイププロジェクトの推進「協働のまちづくりによる人づくりとコミュニティの再構築」などの基本的方向性に沿い、「地域づくり」「人づくり」などに関するソフト事業を推進すること、町を元気にし、地域の活性化につなげます。

(次ページへ続く)